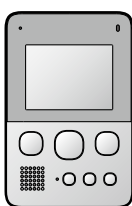


VL-VG560L



ワイヤレス玄関子機
(本書の表記: ドアホン)

VL-MGD10



ワイヤレスモニター親機
(本書の表記: ドアホン親機)

品名 **ワイヤレス
テレビドアホン**
品番 **VL-SGD10L**

もくじ

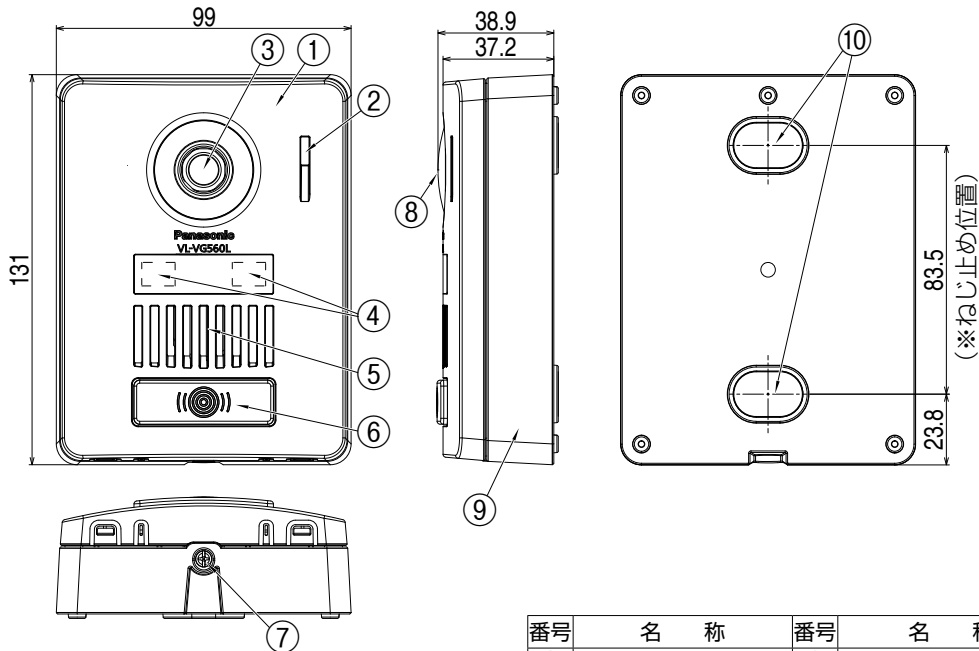
外形寸法図／付属品／仕様	2
・ ドアホン：ワイヤレス玄関子機 VL-VG560L-S	2
・ ドアホン親機：ワイヤレスモニター親機 VL-MGD10	3
・ ACアダプター	3
各部のなまえとはたらき	5
・ ドアホン親機	5
・ ドアホン	5
概要	6
・ 別売品	6
機能設定一覧(設定方法と一覧表)	6
使用上のお願い	8
・ ドアホン親機の設置について	8
・ ドアホンとドアホン親機間の通信や電波について	8
ドアホン親機の設置・充電	9
・ ドアホン親機を壁(柱)掛けするには	10
ドアホンの設置	11
・ 設置場所について	11
・ 外壁材の種類に応じた注意事項	11
・ 設置場所の電波状態を確認する	12
・ 取り付け位置を決める	13
・ ドアホンに電池を入れて壁に取り付ける	13
ライセンス・商標など	15

商品仕様書図	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	1/15

外形寸法図／付属品／仕様

ドアホン：ワイヤレス玄関子機 VL-VG560L-S

単位	mm
縮尺	FREE



番号	名称	番号	名称
①	上ケース	⑥	呼び出しボタン
②	マイク	⑦	取り付けねじ
③	カメラレンズ	⑧	カメラパネル
④	LEDライト(照明用)	⑨	取付けカバー
⑤	スピーカー	⑩	防水ゴム

■仕様

電源	単3形電池6本 (パナソニック製 充電式エボルタ ハイエンドモデル推奨)*1
電池寿命	最大12か月*2
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約131×99×37.2 (突起部除く)
質量	約240g(電池含まず)
使用環境条件	周囲温度：-10℃～+50℃ 湿度：90%以下
最大画角	水平：約70° 垂直：約53°
取付方法	付属の取付けカバーを使用
無線通信方式	1.9GHz TDMA-WB
最低被写体照度	1ルクス(カメラから約50cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防塵・防水性	IP44*3
外観色調	シルバー
外観材質	難燃ABS樹脂

※1 その他の充電式ニッケル水素電池、アルカリ乾電池、リチウム乾電池もお使いいただけますが、次の点にご注意ください。

- 電池寿命が短くなることがあります。
- 電池の保証温度・湿度の範囲内でお使いください。
- リチウム乾電池の場合は、公称電圧1.5V以下のものをお使いください。(製品の破損防止)

※2 推奨電池の充電式エボルタ ハイエンドモデルを満充電にして次の条件で使用したときの目安です。

- P.7「ドアホン電池セーブ」を「セーブ」、「ドアホン照明自動点灯」を「しない」に設定
(「ドアホン電池セーブ」を「標準」に設定すると、電池寿命は最大6か月)
- 周囲温度20℃で1日3回、1回につき約10秒間映像を表示

※3 防塵性規格等級4：

直径1.0mm以上の固形物が侵入しないレベル

防水性規格等級4：

あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

■付属品

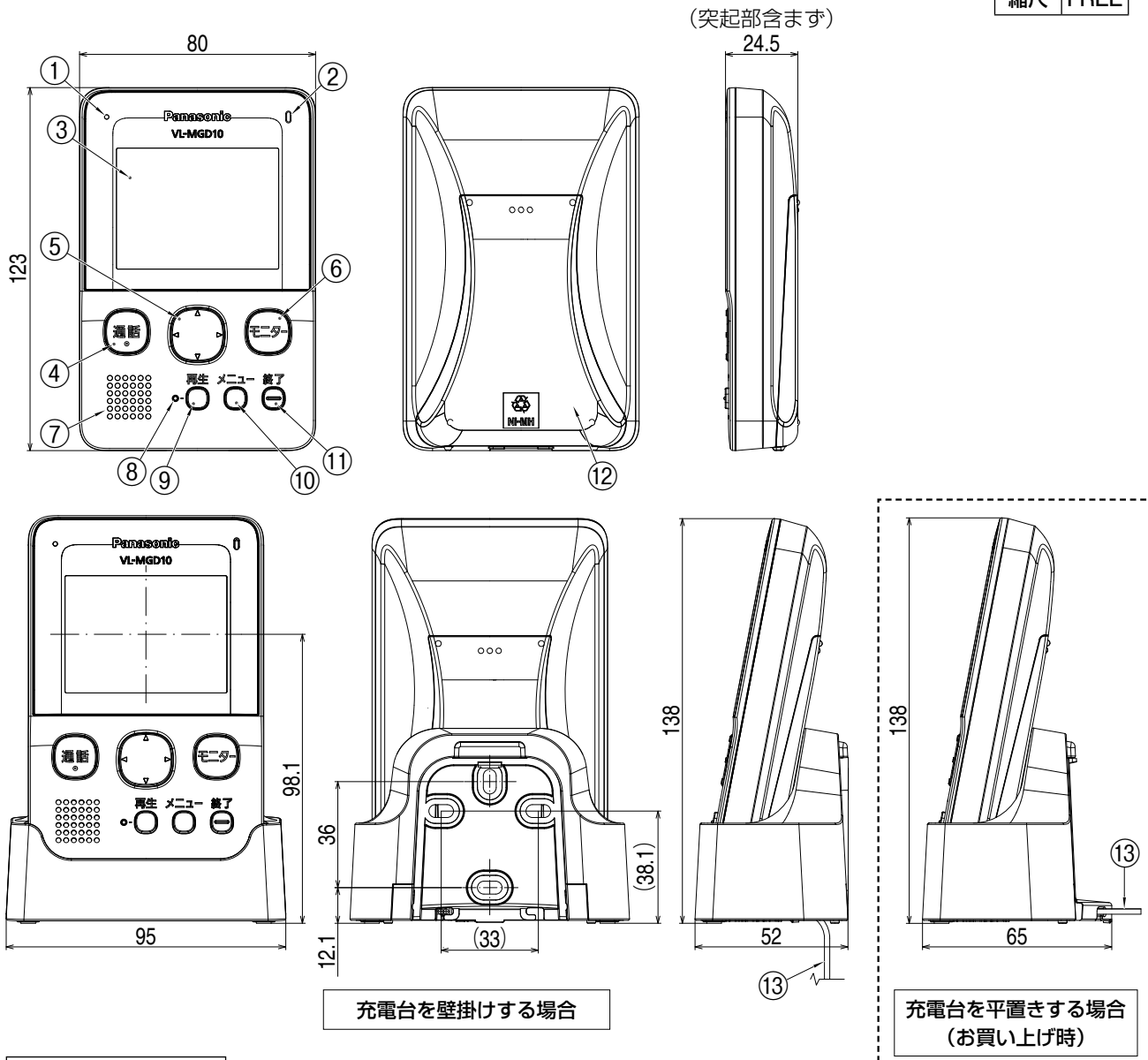
<input type="checkbox"/> 壁掛け用ねじ(長さ25mm).....	2
<input type="checkbox"/> 防水シート.....	2

※ドアホン用の電池は付属されていません。
「仕様」の「電源」欄を参照のうえ、ご用意ください。

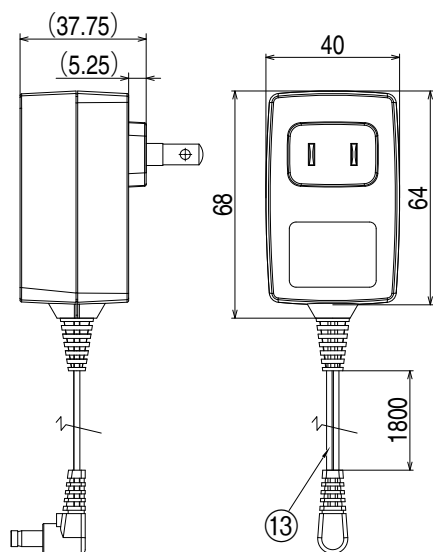
外形寸法図／付属品／仕様 (ドアホン：ワイヤレス玄関子機 VL-VG560L-S)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	2/15

ドアホン親機：ワイヤレスモニター親機 VL-MGD10

単位	mm
縮尺	FREE



ACアダプター



番号	名称
①	充電ランプ(赤)
②	マイク
③	液晶ディスプレイ
④	通話ボタン
⑤	マルチファンクションキー
⑥	モニターボタン
⑦	スピーカー
⑧	新着ランプ(赤)
⑨	再生ボタン
⑩	メニューボタン
⑪	終了ボタン
⑫	電池カバー
⑬	ACアダプターコード(コード長：約1,800 mm)

外形寸法図／付属品／仕様 (ドアホン親機：ワイヤレスモニター親機 VL-MGD10)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	3/15

■仕様

電 源	専用ニッケル水素電池 (品番: KX-FAN57) (DC 2.4 V) (630 mAh)
外形寸法 (mm) (高さ ×幅×奥行) (突起部除く)	本体: 約123 × 80 × 24.5 充電台使用時(壁掛けの場合): 約138 × 95 × 52 充電台使用時(平置きの場合): 約138 × 95 × 65
質 量	約150 g(電池パック含む)
使用環境 条件	周囲温度: 0℃ ~ +40℃ 湿度: 90%以下
画面表示	約2.7型カラー液晶ディスプレイ QVGA(320×240)最大10 fps (中継アンテナ登録時は最大6 fps)
通話方式	音声交互自動切替方式
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用可能 距離	約100 m (ドアホンとの見通し距離)
待機(待受) 時間	約50時間*1 (満充電、周囲温度20℃、 中継アンテナ未登録時)
充電時間	約12時間*2
外観色調	ホワイト
外観材質	ABS樹脂

※1 充電台から外して一度も使用しない場合です。次のときは電池の消耗が早くなり、待機時間が短くなります。

- 電波状態が悪いとき
- 中継アンテナ登録後(約6時間)
(中継アンテナ使用中はワイヤレスモニター親機と中継アンテナが常時通信状態となり、待機時間が短くなります。)

※2 使用環境温度が20℃のとき

■付属品

<input type="checkbox"/> 壁掛け用ねじ(長さ20 mm).....	2
<input type="checkbox"/> 充電台.....	1
<input type="checkbox"/> ACアダプター.....	1
<input type="checkbox"/> 電池パック.....	1

単位	mm
縮尺	FREE

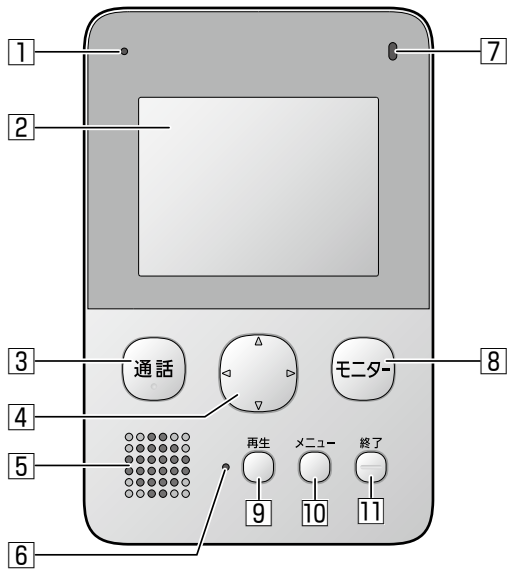
充電台

電 源	ACアダプター AC100 V(50 Hz/60 Hz) (DC 6.5 V) (500 mA)
消費電力	待機時: 約0.07 W (ドアホン親機を充電台 から外しているとき) 充電時: 約1.5 W
外形寸法 (mm) (高さ ×幅×奥行)	約66.2 × 95 × 64.2 (突起部除く)
質 量	約70 g
使用環境 条件	周囲温度: 0℃ ~ +40℃ 湿度: 90%以下

外形寸法図/付属品/仕様 (ドアホン親機: ワイヤレスモニター親機 VL-MGD10)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	4/15

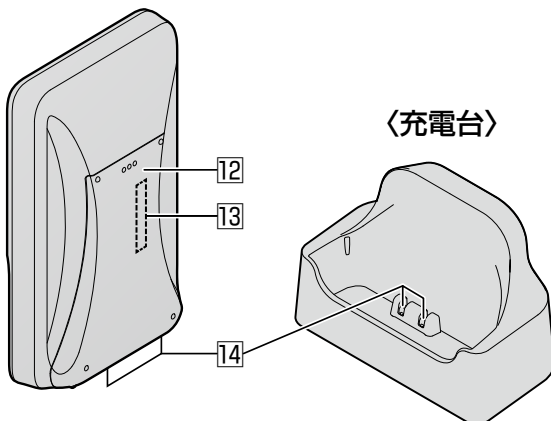
各部のなまえとはたらき

ドアホン親機

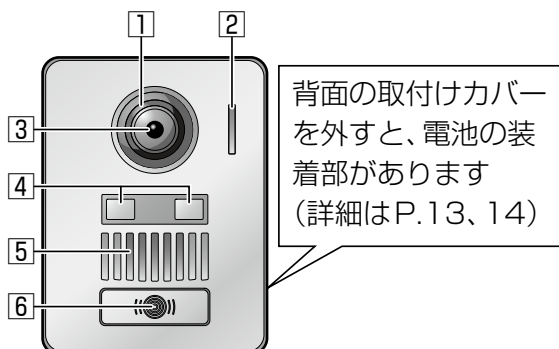


- ① 充電ランプ (赤) (P.10)
- ② 液晶ディスプレイ
- ③ 【通話】 ボタン
- ④ マルチファンクションキー
【▼】【▲】【◀】【▶】
項目の選択などに使います。
- ⑤ スピーカー
- ⑥ 新着ランプ (赤)
点灯/点滅で状態をお知らせします。
- ⑦ マイク
- ⑧ 【モニター】 ボタン
ドアホン側の様子を確認できます。
- ⑨ 【再生】 ボタン
録画を再生します。
- ⑩ 【メニュー】 ボタン
トップメニューを表示します。
- ⑪ 【終了】 ボタン
- ⑫ 電池カバー
- ⑬ 製造番号
電池の装着部 (電池カバーを開けた本体側) に記載しています。
- ⑭ 充電端子 (金属部分)

〈背面〉



ドアホン

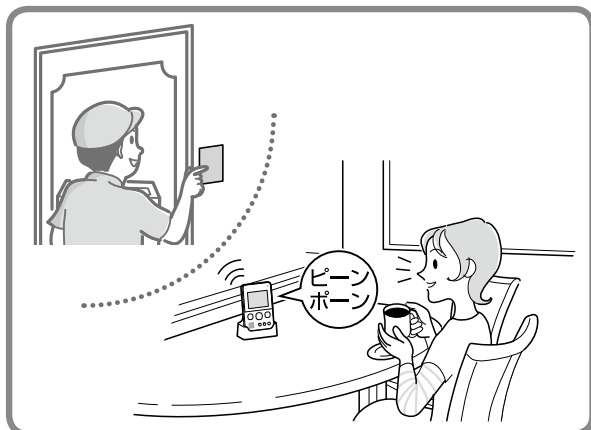


- ① レンズカバー
- ② マイク
- ③ カメラレンズ
- ④ LEDライト (照明用)
- ⑤ スピーカー
- ⑥ 呼出ボタン

背面の取付けカバーを外すと、電池の装着部があります (詳細はP.13、14)

各部のなまえとはたらき (ドアホン親機: ワイヤレスモニター親機 VL-MGD10)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	5/15

概要



本機は、ワイヤレスモニター親機(ドアホン親機)とワイヤレス玄関子機(ドアホン)からなるワイヤレステレビドアホン(1-1タイプ)です。
ドアホン親機とドアホンの間はワイヤレス接続で配線工事が不要です。見通し約100m以内で使用できます。

来客時やモニター時の映像を、自動または手動で最大100件まで録画できます。

- 1件につき、静止画3枚(約0.5秒おきの3連続画像)を録画します。

別売品

価格やご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 記載情報は2016年2月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

中継アンテナ	KX-FKD3
電池パック	KX-FAN57

- 電池パックは、お買い上げの販売店にて、お取り寄せとなります。

中継アンテナは、販売店またはパナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけます。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

 **Panasonic Store**

機能設定一覧(設定方法と一覧表)

待機中に、下記の操作で各種設定を変更できます。

1 【メニュー】を押す

- トップメニューが表示されます。

2 【▼】【▲】で「各種設定」を選び、【モニター】(決定)を押す

- 設定の項目一覧が表示されます。

3 【▼】【▲】で設定する項目を選び、【モニター】(決定)を押す

- 選んだ項目の機能一覧が表示されます。

4 【▼】【▲】で設定する機能名を選び、【モニター】(決定)を押す

- 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。

5 【▼】【▲】で設定内容を選び、【モニター】(決定)を押す

- 機能によってはこの操作を繰り返し行い、設定完了後に【終了】を押してください。
- 設定内容の選択時に確認画面が表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

概要(別売品)／機能設定一覧(設定方法と一覧表)	品名	ワイヤレステレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	6/15

項目名	機能名など	設定内容など	初期値	
日時設定	—	● 日時の設定画面が出たら、現在の日付・時刻に設定します。	2015年 1月1日 0時00分	
呼出音の設定	呼出音量	大、中、小、切 ● ドアホンからの呼出音量を設定します。	大	
	呼出音	音の種類：音1～音3 鳴りかた：押すたび、繰り返し(5秒ごと) ● ドアホンからの呼出音を設定します。	音1、 押すたび	
録画再生の設定	新着ランプ点灯	する、しない ● 新しく録画した未確認画像があっても、新着ランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する	
	画像全消去	すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—	
中継アンテナ登録/減設	登録	● 中継アンテナを登録します。	—	
	減設	● 中継アンテナを減設します。	—	
その他の設定	ドアホン電池セーブ		標準、セーブ ● 「標準」の場合、「セーブ」に比べて電池の消耗が早くなります。(「標準」「セーブ」各設定での電池寿命の目安はP.2「仕様」の「電池寿命」欄を参照) ● 「セーブ」の場合、ドアホンの電池を長持ちさせることができますが、次の制限が生じます。 ● 来客応答専用となり、モニター機能が使えない ● 「初期化」や「ドアホン電池セーブ」の設定変更(次回変更時)に時間がかかる	セーブ
	ドアホン照明自動点灯	来客時	する、しない ● 「する」の場合、来客時やモニター時にドアホン側が暗いと、ドアホンの照明(LEDライト)が自動点灯します。	する
		モニター時		
初期化	設定を元に戻す、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。		—	

機能設定一覧(設定方法と一覧表)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	7/15

使用上のお願い

ドアホン親機の設置について

ドアホンの設置については(P.11)

こんなところに設置しない

故障や動作障害などの原因になります。

- 火気・熱器具・冷暖房機の近く
- 直射日光の当たる場所
- 温度変化が激しく結露が発生する場所
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

〈その他〉

- 携帯電話の基地局やテレビ局の近くなど、強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。

ACアダプターを差し込む位置は…

ACアダプターは、充電台の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

ドアホンとドアホン親機間の通信や電波について

各機器間は、電波によって通信を行います。



使用可能距離(範囲)：100 m以内
(間に障害物がない場合)

- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。
- 各機器間の通信方式など、電波について詳しくは、P.9をお読みください。

使用可能距離(範囲)について

- 機器間の距離が近すぎると、「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。
- 機器間の距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のように電波を通しにくい(または電波を反射する)障害物があると、電波が弱くなり、ブツブツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が圏外となって使えないことがあります。

- 複層ガラスの窓や金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器をそれぞれ、別の階や家屋で使うとき

上記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。

電波干渉によるノイズなどを防ぐために

■ ドアホン親機を次の機器から離す

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)
 - CSデジタル放送の画像が乱れる原因になります。

通信の傍受について

本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

使用上のお願い (ドアホン親機の設置について/ ドアホンとドアホン親機間の通信や電波について)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	8/15

通信方式(電波)について

- 本機は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。

本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す次のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。

J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

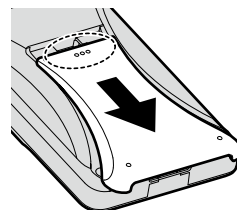
1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機の電池パックを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。

ドアホン親機の設置・充電

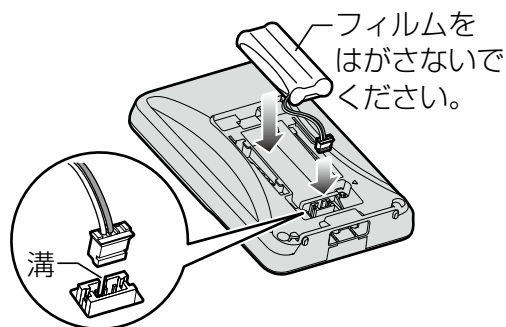
必ず充電してからお使いください。

1 付属の電池パックを入れる

- ① 〇部を押し下げながら手前に引き、電池カバーを開ける



- ② コネクターを溝に合わせて差し込み、電池パックを入れる

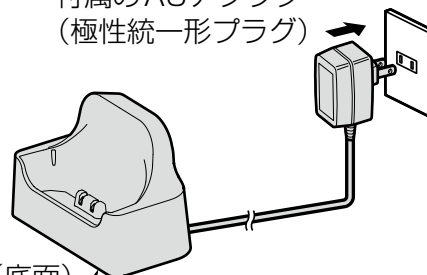


- ③ 電池カバーを元のように閉める

- 壁掛けする場合は、P.10を参照して充電台を壁に取り付けてから、下記手順2に進んでください。

2 ACアダプターを充電台と電源コンセント(AC100V)に接続する

付属のACアダプター
(極性統一形プラグ)

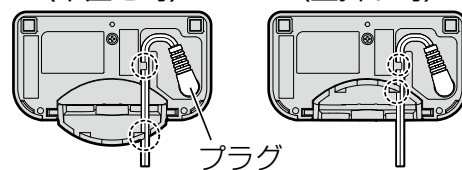


(底面)

プラグをしっかり奥まで差し込み、コードを溝に通す

〈平置き時〉

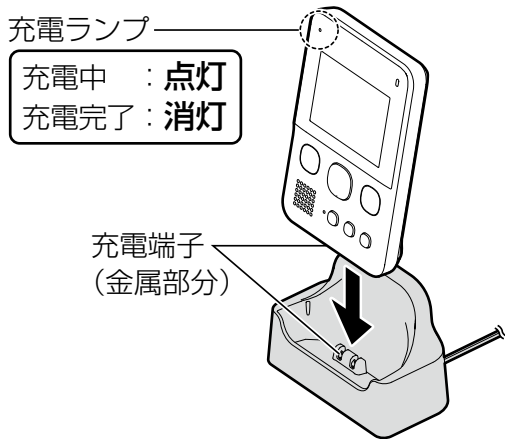
〈壁掛け時〉



プラグ

使用上のお願い (ドアホンとドアホン親機間の通信や電波について)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	9/15

3 ドアホン親機を充電台に置き、約12時間充電する



- 充電完了後の待機(待受)時間の目安や、充電時間についての詳細は(P.4)
- ドアホン親機は充電台に置いたままでも過充電されません。

お願い

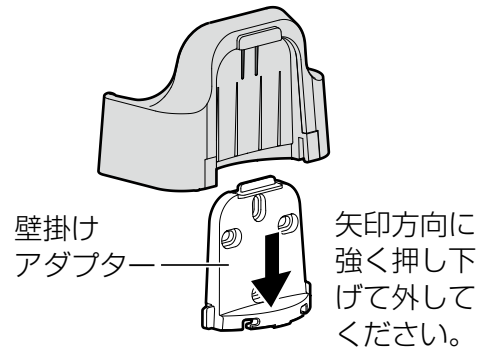
- ドアホン親機は、使用後こまめに充電台に戻してください。

ドアホン親機を壁(柱)掛けするには

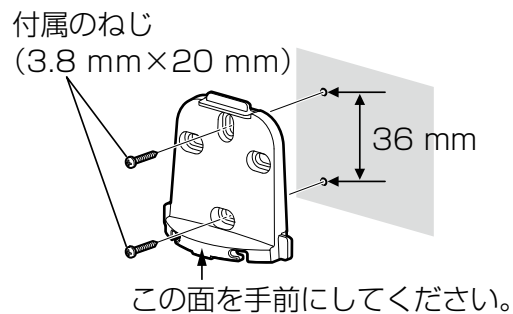
壁掛け時の注意(下記)をよくお読みのうえ、次の点に留意して取り付けてください。(誤動作や通話の途切れ防止のため)

- 本体を充電台に置いた状態で、上下左右に20 cm以上の空間をとる
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避ける

1 充電台から壁掛けアダプターを取り外す

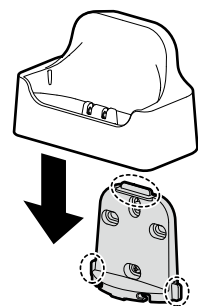


2 壁掛アダプターを壁に取り付ける



3 充電台を取り付ける

充電台の溝に沿って壁掛けアダプターに取り付け、右図の○で示した3か所のツメが充電台に「カチッ」と収まるまで押し下げて固定してください。



■ 壁掛け時の注意

壁掛けするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

(落下による、破損やけがの原因)

- ➔ 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

ドアホン親機の設置・充電 (ドアホン親機を壁(柱)掛けするには)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	10/15

ドアホンの設置

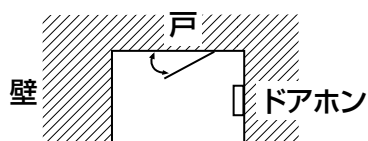
設置場所について

こんなところに設置しない

故障や動作障害などの原因になります。

- 凹凸が大きな外壁
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ

図のような場所では、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。

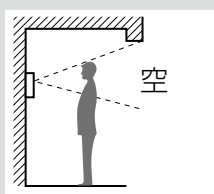


- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

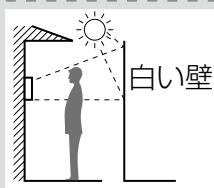
気をつけていただきたいこと

- 本体の上下左右には、下記のための空間を20 cm以上とってください。
 - 誤動作や通話の途切れ防止
 - 底面のねじの取り付け/取り外し
- 下図のように、逆光になる場所への設置は避けてください。（来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります）

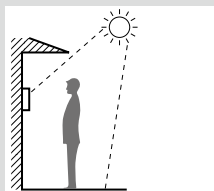
背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光が当たるような、明るい玄関



- ドアホン周囲の温度差でドアホンのレンズカバーが結露し、映像が見えにくくなる場合がありますが故障ではありません。
- 取り付け場所に壁穴が開いているときは、断熱材（発泡スチロールなど）を用いて、壁穴を埋めるか、壁とドアホンの間に挟むと結露しにくくなります。
- ドアホンの防塵・防水性は（P.2）

外壁材の種類に応じた注意事項

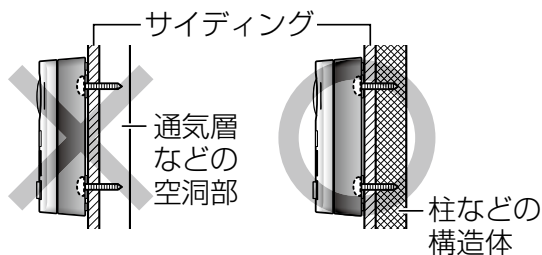
取り付け前に必ずお読みいただき、工事が必要な場合は、販売店または専門の工事店に依頼してください。

サイディングの場合

- 付属のねじをお使いください。設置場所のねじの引き抜き強度は、1本あたり196 N(20 kgf)以上が必要です。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。サイディングの厚みなどにより構造体で支持できない場合は、市販のねじ（呼び径4.0 mm、長さ25 mmより長いもの）を使用してください。
- サイディング用ドリルで下穴を開け、穴開け後は粉を取り除いてください。



サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。



【悪い例】

外壁部のみへの取り付けは禁止

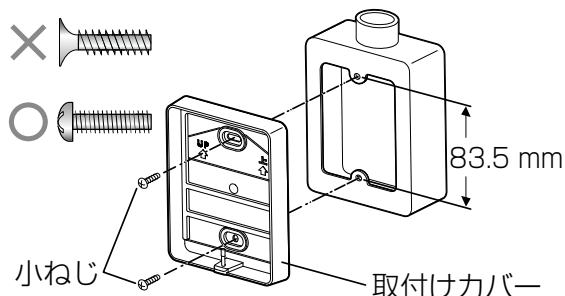
【良い例】

外壁部と構造体の両方に取り付ける

ドアホンの設置 (設置場所について/外壁材の種類に応じた注意事項)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	11/15

スイッチボックス (JIS1 個用) の場合

- 付属のねじ、スイッチボックスに付属のねじ、ねじ頭部が皿形状のねじ (下図) は使えません。(取付けカバーが変形する原因になります)
市販の小ねじ (呼び径 4.0 mm、長さ 20 ~ 30 mm、ねじの先端が尖っていないもの) をお使いください。

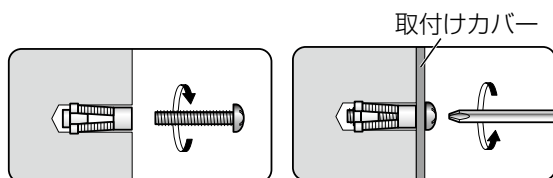


コンクリートの場合

- 付属のねじは使えません。市販のコンクリート用プラグボルト (ねじの呼び径 4.0 mm、かつ、⊕ドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは取り付けできません。
- 取り付け前にプラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、下記の手順でプラグボルトを壁に取り付けてください。



- ① 下穴の深さの位置に あらかじめマーキングし、下穴を開ける
- ② 内部の粉を取り除く



- ③ プラグボルトを挿入後、ねじを抜いて仮固定する
- ④ ドライバーでねじを締める

ALC (軽量発泡コンクリート) の場合

- ALCパネルの種類 (厚みなど) によっては取り付けられない場合もあります。取り付け前に、ALCパネルメーカーにお問い合わせください。

〈取り付け可能な場合〉

- 付属のねじは使えません。必ず、市販の金属製のALC用アンカー (ねじの呼び径 4.0 mm、かつ、⊕ドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け前にアンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
- ALC用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール材 (市販品) で防水処理をしてください。

その他の壁 (モルタル・タイル材など)

- 付属のねじは使えません。住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカーを使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

設置場所の電波状態を確認する

設置の前に必ず行ってください。

- ① ドアホン親機とドアホンに電池を入れる (P.9、13)
- ② ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機に映像が映ることを確認する
- ③ ドアホンを設置場所に持って行く
- ④ 室内に戻り、ドアホン親機を使用するすべての場所でそれぞれ電波状態を確認する

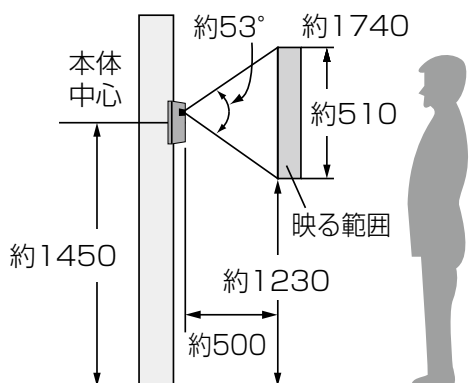
ドアホンの設置 (外壁材の種類に応じた注意事項/ 設置場所の電波状態を確認する)	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	12/15

取り付け位置を決める

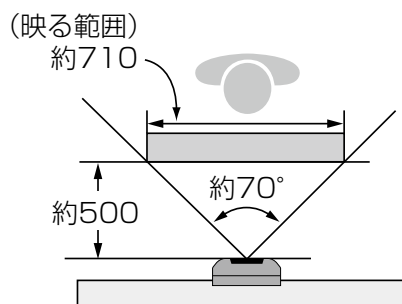
取り付け位置(高さ)と撮影範囲について

(図中の寸法単位: mm)

- 標準位置(本体中心までの高さが約1450 mm)に設置し、カメラ角度が0°(正面)のとき<お買い上げ時の状態>

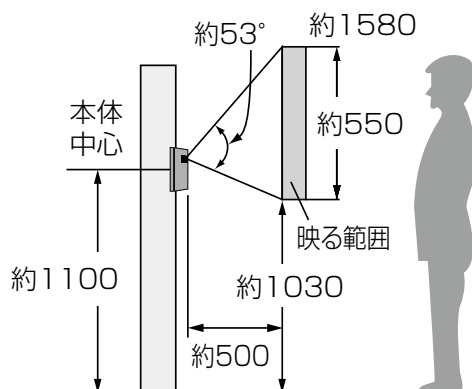


【上から見た場合】

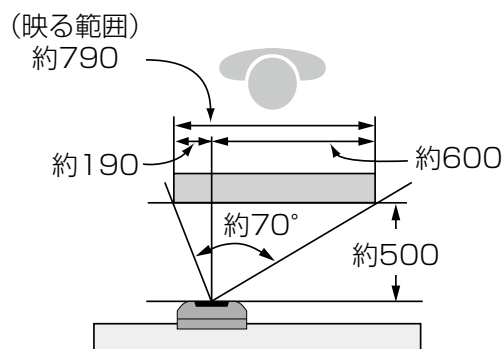


標準位置より低い位置や、左または右に離れた位置に設置する場合には、カメラ角度調節レバーで撮影範囲を調節できます。(詳細はP.14の手順3)

- 標準位置より低い位置(本体中心までの高さが約1100 mm)に設置し、カメラ角度が15°(上向き)のとき



- 正面より左または右に離れた位置に設置し、カメラ角度が15°(左右)のとき※1
(下図はカメラ角度が左向き15°の例)



※1 上向き15°にすると、左または右向きは約7°までしか調節できません。

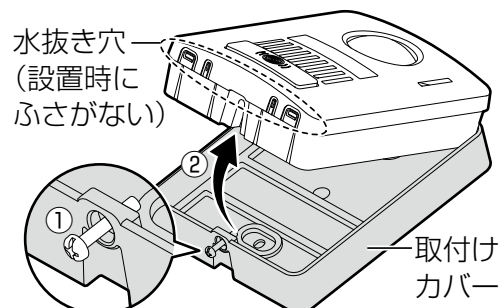
お知らせ

- エントランスポールやサインポストへの取り付けはできません。また、別売のカメラ角度調節台も使えません。

ドアホンに電池を入れて壁に取り付ける

- 電池は付属されていません。P.2「仕様」の「電源」欄を参照して、ご用意ください。
- ドアホン内部と電池はぬらさないように注意してください。(電池のサビや動作不良防止)

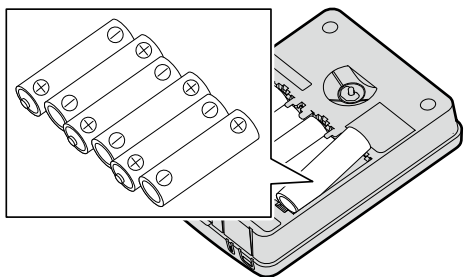
1 取付けカバーから本体を外す



- ① ねじをゆるめ、ねじ頭をつまんで図の位置くらいまで外側に引っ張り出す
- ② 底面部を持ち上げて本体を取付けカバーから外す

ドアホンの設置 (取り付け位置を決める/ (ドアホンに電池を入れて壁に取り付ける))	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	13/15

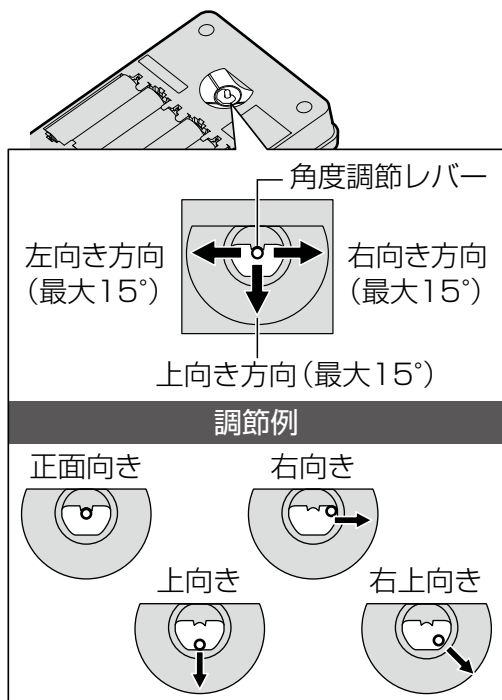
2 単3形電池(6本)を正しく入れる



- 指定外の電池を入れないでください。
- 新旧・異種の電池を混用したり、⊕⊖の向きを間違えないでください。
- 乾電池を使うときは、使用推奨期限(乾電池に記載)を確認してください。

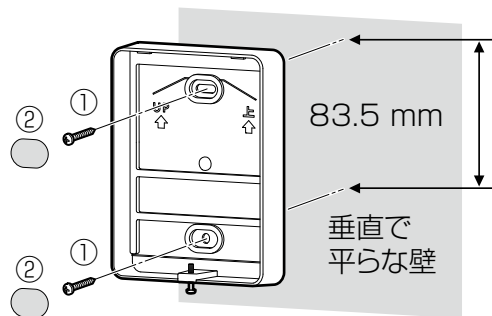
3 カメラレンズの角度を調節する

- 最大15°の範囲内で、自由な角度に調節できます。



- 「左向き」「左上向き」にも調節できます。
- 「左上向き」または「右上向き」に設定すると、画像がひずむことがあります。

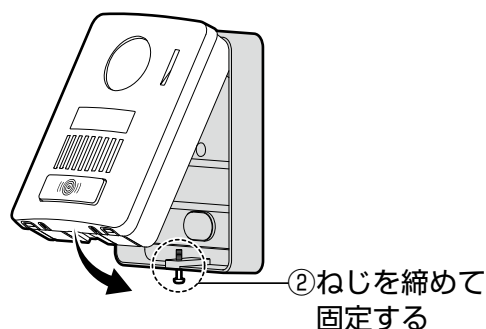
4 取付けカバーを壁面に取り付ける



- ① 外壁材の種類に応じたねじ2本(P.11、12)を使ってしっかり取り付ける
 - サイディング壁には付属のねじ(4 mm × 25 mm)が使えます。
 - 取付けカバーのねじ穴は防水ゴムでふさがれています。先端の尖ったものでねじの取り付け位置にあらかじめ下穴を開けてください。
 - ねじを締め付けすぎないでください。(防水ゴムが破れる、または取付けカバーが変形・破損して本体が取り付けられなくなる原因)
- ② 付属の防水シート2枚を、ねじ止めた部分にしっかり貼り付ける

5 本体を取付けカバーに取り付けて固定する

- ① 図のように、先に本体の天面部を取付けカバーに入れて底面部を押し込む



6 正しく動作するか確認する

- ① ドアホンの呼出ボタンを押す
(ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ります)
- ② ドアホン親機の【通話】を押す
(ドアホンと通話できます)

ドアホンの設置 (取り付け位置を決める/ (ドアホンに電池を入れて壁に取り付ける))	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	14/15

ライセンス・商標など

- 本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i)画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- ドアホン親機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

ライセンス・商標など	品名	ワイヤレス テレビドアホン	品番	VL-SGD10L	
パナソニック株式会社	作成	2016年2月	変更	2017年4月	15/15